

20. 軍縮・不拡散関連宣言等

カナナスキス・サミット

G8首脳声明

大量破壊兵器及び物質の拡散に対する

G8グローバル・パートナーシップ

(仮訳)

9月11日の攻撃は、テロリストが、恐怖を引き起こし、無実の市民に恐るべき犠牲を強いるために如何なる手段をも厭わないことを明らかにした。我々は、テロリストまたはそれを匿う者が、核、化学、放射性及び生物兵器、ミサイル、並びに関連物資、機材及び技術を取得または開発することを防止することにコミットする。我々は、すべての国に対し、本日発表した一連の不拡散の原則の採択に参加するよう求める。

これらの原則を実施するための主要なイニシアティブとして、我々はまた、本日、大量破壊兵器及び物質の拡散に対する新たなG8グローバル・パートナーシップを打ち出すことを決定した。我々は、このイニシアティブの下で、不拡散、軍縮、テロ対策及び原子力安全に関する問題に対処するための具体的な協力事業を、まずロシアにおいて、支援する。我々の主たる関心事項には、化学兵器の廃棄、退役原子力潜水艦の解体、核分裂性物質の処分、及び兵器の研究に従事していた科学者の雇用が含まれる。我々は、向こう10年間にわたり、このような事業を支援するために200億ドルを上限に資金調達することにコミットする。本グローバル・パートナーシップに貢献する国は、二国間債務と協力事業のスイッチの選択肢を含め、様々な資金供給の選択肢を活用できる。我々は、効果的かつ効率的な策定、調整及び実施を確保するため、新たな事業に関する具体的な合意のための交渉の基礎となる一連の指針を、直ちに適用されるものとして、採択した。我々は、向こう1年間、この指針の既存の事業への適用可能性について再検討する。

このグローバル・パートナーシップが国際の安全保障及び安全を向上させることを認識し、我々は、この共通原則及び指針を採択する用意のある他の諸国に対し、このイニシアティブへの参加及び貢献について我々との議論を開始するよう呼びかける。我々は、このグローバル・パートナーシップの進捗状況を、2003年の次回サミットにおいて検討する。

カナナスキス・サミット

「大量破壊兵器及び物質の拡散に対する G8 グローバル・パートナーシップ」

2002年6月(於:カナナスキス)

The G8 Global Partnership Against the Spread of Weapons and Materials of Mass Destruction

The attacks of September 11 demonstrated that terrorists are prepared to use any means to cause terror and inflict appalling casualties on innocent people. We commit ourselves to prevent terrorists, or those that harbour them, from acquiring or developing nuclear, chemical, radiological and biological weapons; missiles; and related materials, equipment and technology. We call on all countries to join us in adopting the set of non-proliferation principles we have announced today.

In a major initiative to implement those principles, we have also decided today to launch a new G8 Global Partnership against the Spread of Weapons and Materials of Mass Destruction. Under this initiative, we will support specific cooperation projects, initially in Russia, to address non-proliferation, disarmament, counter-terrorism and nuclear safety issues. Among our priority concerns are the destruction of chemical weapons, the dismantlement of decommissioned nuclear submarines, the disposition of fissile materials and the employment of former weapons scientists. We will commit to raise up to \$20 billion to support such projects over the next ten years. A range of financing options, including the option of bilateral debt for program exchanges, will be available to countries that contribute to this Global Partnership. We have adopted a set of guidelines that will form the basis for the negotiation of specific agreements for new projects, that will apply with immediate effect, to ensure effective and efficient project development, coordination and implementation.

We will review over the next year the applicability of the guidelines to existing projects.

Recognizing that this Global Partnership will enhance international security and safety, we invite other countries that are prepared to adopt its common principles and guidelines to enter into discussions with us on participating in and contributing to this initiative. We will review progress on this Global Partnership at our next Summit in 2003.

カナナスキス・サミット

**G8 グローバル・パートナーシップ
テロリストまたはテロリストを匿う者による
大量破壊兵器または物質の取得を
防止するための原則
(仮訳)**

G8は、すべての国に対し、テロリストまたはテロリストを匿う者が、核、化学、放射性及び生物兵器、ミサイル、並びに関連物資、機材及び技術を取得または開発するのを防止するため、以下の6つの原則に対するコミットメントに参加するよう呼びかける。

1. かかる品目の拡散または違法な取得の防止を目的とする多国間条約及びその他の国際的手段の採択、普遍化、完全な履行及び、必要な場合には、その強化を促進すること。これらの手段の実施のための機関を強化すること。
2. かかる品目の生産、使用、保管、国内及び国家間の移転において、かかる品目の使途を明らかにし安全を確保するために、適切かつ効果的な措置を策定し維持すること。そのための十分な資源を欠く国に対し、支援を行うこと。
3. 本格的な防衛も含め、かかる品目を貯蔵する施設の適切かつ効果的な物理的な防護措置を策定し維持すること。そのための十分な資源を欠く国に対し、支援を行うこと。
4. かかる品目の不法移転を探知し、抑止し、阻止するための効果的な国境管理、法執行面の取組及び国際協力を、例えば、探知システムの設置、税関及び法執行職員の訓練、並びにかかる品目の追跡協力を通じ、策定し維持すること。かかる品目の不法移転を探知し、抑止し、阻止する能力を強化するための十分な資源または専門的知見を欠く国に対し、支援を行うこと。
5. 多国間の輸出管理品目リストに記載されている品目、並びにかかるリストには記載されていないが、核、化学、生物兵器及びミサイルの開発、生産、使用に役立つ品目について、特に最終需要者、キャッチ・オール、仲介貿易の側面を考慮しつつ、効果的な輸出及び中継貿易に対する国家による管理を策定、検討及び維持すること。法的及び制度的インフラ、実施の経験を欠くか、または、この点に関し、自国の輸出、中継貿易の管理システムを策定する十分な資源を欠く国に対し、支援を行うこと。
6. その総量を減らせば、テロリストによる入手の脅威は低下するとの認識に基づき、防衛目的のためにはや不要と指定された核分裂性物質のストックを管理及び処分し、すべての化学兵器を廃絶し、並びに危険な生物病原体や毒素の保有を最小にするための取組を採用し強化すること。

カナナスキス・サミット

「G8 グローバル・パートナーシップ:テロリストまたはテロリストを匿う者による大量破壊兵器または物質の取得を防止するための原則」

2002年6月(於:カナナスキス)

The G8 Global Partnership: Principles to prevent terrorists, or those that harbour them, from gaining access to weapons or materials of mass destruction

The G8 calls on all countries to join them in commitment to the following six principles to prevent terrorists or those that harbour them from acquiring or developing nuclear, chemical, radiological and biological weapons; missiles; and related materials, equipment and technology.

1. Promote the adoption, universalization, full implementation and, where necessary, strengthening of multilateral treaties and other international instruments whose aim is to prevent the proliferation or illicit acquisition of such items; strengthen the institutions designed to implement these instruments.
2. Develop and maintain appropriate effective measures to account for and secure such items in production, use, storage and domestic and international transport; provide assistance to states lacking sufficient resources to account for and secure these items.
3. Develop and maintain appropriate effective physical protection measures applied to facilities which house such items, including defence in depth; provide assistance to states lacking sufficient resources to protect their facilities.

4. Develop and maintain effective border controls, law enforcement efforts and international cooperation to detect, deter and interdict in cases of illicit trafficking in such items, for example through installation of detection systems, training of customs and law enforcement personnel and cooperation in tracking these items; provide assistance to states lacking sufficient expertise or resources to strengthen their capacity to detect, deter and interdict in cases of illicit trafficking in these items.
5. Develop, review and maintain effective national export and transshipment controls over items on multilateral export control lists, as well as items that are not identified on such lists but which may nevertheless contribute to the development, production or use of nuclear, chemical and biological weapons and missiles, with particular consideration of end-user, catch-all and brokering aspects; provide assistance to states lacking the legal and regulatory infrastructure, implementation experience and/or resources to develop their export and transshipment control systems in this regard.
6. Adopt and strengthen efforts to manage and dispose of stocks of fissile materials designated as no longer required for defence purposes, eliminate all chemical weapons, and minimize holdings of dangerous biological pathogens and toxins, based on the recognition that the threat of terrorist acquisition is reduced as the overall quantity of such items is reduced.

**G8 グローバル・パートナーシップ
新規または拡張された協力事業に関する
指針
(仮訳)**

G8は、我々の国際的な安全保障上の目標に従い、多国間不拡散体制を支持する形で戦略的安定を高めることを目指して、(i)不拡散、(ii)軍縮、(iii)テロ対策、及び(iv)原子力安全問題（環境問題を含む）に対処するために、各国それぞれの手段に応じて、新規または拡大された協力事業を策定し、調整し、実施し、及び資金を供給することにつき、二国間及び多国間で、協調して作業する。各国は、不拡散、軍縮、テロ対策及び原子力安全上の義務及び要請を履行することについて第一義的な責任を有しており、本パートナーシップにおいて全面的な協力を行うことにコミットする。

本イニシアティブの下での協力事業は、参加協力国の国際的な義務及び国内法を考慮しつつ、適当な二国間及び多国間の法的枠組みの下で決定及び実施される。右枠組みは、必要に応じ、以下の要素を含むべきである。

- (i) 協力事業が合意された目的（必要な場合、不可逆性を含む）に合致することを確保し、作業の実施状況を確認し、拠出された資金の用途を明らかにし、資金供与国代表者の現場への十分なアクセスを提供するために、モニタリング、監査及び透明性に関する効果的な措置及び手続きについて、相互に合意することが必要である。
- (ii) 事業は環境に安全な方法で実施され、最も高い適切な安全レベルを維持する。
- (iii) 各事業ごとに明確に定義された中間目標を策定する。中間目標が達成されなかった場合にはその事業を中断または終了する選択肢も含めることとする。
- (iv) 物資、機材、技術、サービス及び専門的知見は平和目的にのみ提供され、また別途合意がない限り、事業の実施目的にのみ使用され、移転は行われぬ。また、盗難または破壊防止のために十分な物理的な防護措置をとる。
- (v) すべての政府は、提供される支援を無償の技術支援とみなし、税、関税、課徴金及びその他の負担から免除することを確保するために必要な措置をとる。
- (vi) 財及びサービスは、国家安全保障上の要請に即しつつ、公開性のある国際慣行に最大限従って調達する。

- (vii) すべての政府は、協力に関連する賠償請求からの免責保証を、資金供与国及びその人員及び契約者に対し与えることを確保するために必要な措置をとる。
- (viii) 協力事業に従事する資金供与国政府代表者に対し然るべき特権及び免除を与える。
- (ix) 機微な情報及び知的所有権の効果的な保護を確保するための措置をとる。

実施すべき活動の広がり及び範囲に鑑み、G8は、本イニシアティブの下での事業の進捗を毎年評価するための、適切なメカニズムを確立する。このメカニズムには、優先事項、事業の不足部分及び潜在的な重複部分の特定、並びに協力事業と国際的な安全保障上の義務及び目標との整合性の評価についての協議が含まれる。個別の二国間及び多国間事業の実施は、既存のメカニズムを含む、その事業に適した枠組に従って調整される。

本指針の目的のために、「新規または拡張された協力事業」は、本グローバル・パートナーシップを基礎として開始または強化される協力事業として定義される。本グローバル・パートナーシップの発表後に支払われ、もしくは支出が許可された資金は、コミットされた資金の総額に含まれる。本グローバル・パートナーシップに貢献する国は、二国間債務と協力事業のスワップの選択肢を含め、様々な資金供給の選択肢を活用できる。

本グローバル・パートナーシップは、ロシアにおける事業に地理的に焦点を絞る。ロシアは、本パートナーシップ内での義務及び必要な事項の実施に第一義的な責任を有する。

さらに、G8は、旧ソ連諸国を含め、本パートナーシップに参加するために、本指針を受け入れる用意があるいかなる他の国とも交渉に入る用意がある。

G8は、本グローバル・パートナーシップが国際の安全保障及び安全を向上するために計画されていることを認識し、他の諸国が本イニシアティブに貢献及び参加するよう招待する。

原子力の安全及び保安に関し、パートナー諸国は、次回サミットの時までのG8原子力安全・保安グループの新たな設置を歓迎する。

カナナスキス・サミット

「G8 グローバル・パートナーシップ：新規または拡張された協力事業に関する指針」

2002年6月（於：カナナスキス）

The G8 Global Partnership: Guidelines for New or Expanded Cooperation Projects

The G8 will work in partnership, bilaterally and multilaterally, to develop, coordinate, implement and finance, according to their respective means, new or expanded cooperation projects to address (i) non-proliferation, (ii) disarmament, (iii) counter-terrorism and (iv) nuclear safety (including environmental) issues, with a view to enhancing strategic stability, consonant with our international security objectives and in support of the multilateral non-proliferation regimes. Each country has primary responsibility for implementing its non-proliferation, disarmament, counter-terrorism and nuclear safety obligations and requirements and commits its full cooperation within the Partnership.

Cooperation projects under this initiative will be decided and implemented, taking into account international obligations and domestic laws of participating partners, within appropriate bilateral and multilateral legal frameworks that should, as necessary, include the following elements:

- i. Mutually agreed effective monitoring, auditing and transparency measures and procedures will be required in order to ensure that cooperative activities meet agreed objectives (including irreversibility as necessary), to confirm work performance, to account for the funds expended and to provide for adequate access for donor representatives to work sites;
- ii. The projects will be implemented in an environmentally sound manner and will maintain the highest appropriate level of safety;

- iii. Clearly defined milestones will be developed for each project, including the option of suspending or terminating a project if the milestones are not met;
- iv. The material, equipment, technology, services and expertise provided will be solely for peaceful purposes and, unless otherwise agreed, will be used only for the purposes of implementing the projects and will not be transferred. Adequate measures of physical protection will also be applied to prevent theft or sabotage;
- v. All governments will take necessary steps to ensure that the support provided will be considered free technical assistance and will be exempt from taxes, duties, levies and other charges;
- vi. Procurement of goods and services will be conducted in accordance with open international practices to the extent possible, consistent with national security requirements;
- vii. All governments will take necessary steps to ensure that adequate liability protections from claims related to the cooperation will be provided for donor countries and their personnel and contractors;
- viii. Appropriate privileges and immunities will be provided for government donor representatives working on cooperation projects; and
- ix. Measures will be put in place to ensure effective protection of sensitive information and intellectual property.

Given the breadth and scope of the activities to be undertaken, the G8 will establish an appropriate mechanism for the annual review of progress under this initiative which may include consultations regarding priorities, identification of project gaps and potential overlap, and assessment of consistency of the cooperation projects with international security obligations and objectives. Specific bilateral and multilateral project implementation will be coordinated subject to arrangements appropriate to that project, including existing mechanisms.

For the purposes of these guidelines, the phrase "new or expanded cooperation projects" is defined as cooperation projects that will be initiated or enhanced on

the basis of this Global Partnership. All funds disbursed or released after its announcement would be included in the total of committed resources. A range of financing options, including the option of bilateral debt for program exchanges, will be available to countries that contribute to this Global Partnership.

The Global Partnership's initial geographic focus will be on projects in Russia, which maintains primary responsibility for implementing its obligations and requirements within the Partnership.

In addition, the G8 would be willing to enter into negotiations with any other recipient countries, including those of the Former Soviet Union, prepared to adopt the guidelines, for inclusion in the Partnership.

Recognizing that the Global Partnership is designed to enhance international security and safety, the G8 invites others to contribute to and join in this initiative.

With respect to nuclear safety and security, the partners agreed to establish a new G8 Nuclear Safety and Security Group by the time of our next Summit.

エビアン・サミット「大量破壊兵器の不拡散：G8宣言」

(仮訳)

1. 我々は、大量破壊兵器（WMD）及びその運搬手段の拡散は我々すべてに対する危険の拡大であることを認識する。国際テロリズムの拡がりとともに、これは、国際安全保障に対する顕著な脅威である。

2. この地球的な課題は多面的な解決を必要とする。我々は、これらの問題に個別に又は共同で、特に国連連合の制度など関連する国際機関を含む他のパートナーとともに、取り組む必要がある。

3. 我々は、国際条約制度、国際原子力機関（IAEA）及び化学兵器禁止機関などの査察制度、G8グローバル・パートナーシップのような大量破壊兵器廃絶のためのイニシアティブ、国内及び国際的に調整された輸出管理、国際的協力及び外交的努力、必要な場合には、国際法に依拠したその他の手段など、この脅威に取り組むために利用可能な様々な手段をもっている。

4. これら全ての手段が必要である一方、どれもそれだけでは十分ではない。すべての拡散の課題に同じ解決策が必要とされるわけではない。我々は、それぞれの場合に最も効果的な手段を用いる必要がある。我々は、引き続きそれらすべてを用いて作業し、強化し、必要な場合は、関係する条約及び手段の普遍化を追求すると決意する。

5. 昨年、カナナスキスにおいて、我々は、大量破壊兵器及び物質がテロリスト及びそれを匿う者に対し拡散することを防止するための「原則」を支持した。それ以来、世界における出来事は、これら「原則」の関連性とこれらを実施する緊急性を強調した。

6. 我々は、核兵器不拡散条約（NPT）、化学兵器禁止条約、生物兵器禁止条約に対する約束を確認した。我々は、まだこれら条約に参加していない全ての国に対し、参加するよう求める。我々は、これら3条約は国際平和と安全を維持するための極めて重要な文書であり、核不拡散及び軍縮の基礎であると考える。我々は、IAEAに対する支持を確認する。IAEAに対しては、その監視作業を実施するために必要な手段が与えられるべきである。

7. 北朝鮮によるウラン濃縮及びプルトニウム製造計画、並びにIAEA保障

措置合意を遵守しないことは、不拡散体制を損なうものであり、北朝鮮による国際的な義務の明確な違反である。我々は、北朝鮮に対し、目に見え、検証可能かつ、不可逆的な形で、いかなる核兵器計画をも廃棄することを強く求める。これは、包括的で平和的な解決を図っていくための本質的な行動となる。

8. 我々は、イランの核計画の進んだ状況が拡散に及ぼす影響を看過しない。我々は、イランがNPTの下での義務を完全に遵守することの重要性を強調する。我々は、イランに対し、直ちにかつ無条件でIAEA追加議定書に署名し履行することを求める。我々は、イランの核計画に対するIAEAの包括的な検査に対し、可能な限りの強力な支援を与える。

9. 我々は、全ての国に対し、大量破壊兵器及びその運搬手段の開発、製造及び使用に貢献し得るような、物質、技術、専門知識の移転を規制するために、効果的な手続及び機関を設立するよう呼びかける。同様に、拡散を効果的に防止し、テロリストがそれらの物質を取得する危険を排除するため、我々は、全ての国に対し、物質の安全な貯蔵及び取り扱いのための効果的な国内基準を確立し実施するよう求める。我々は、この目的のために、単独で又は共同で、最も必要とされるところへ支援を行うことに合意する。

エビアンサミット「大量破壊兵器不拡散に関するG8宣言」

(2003年6月 於エビアン)

**NON PROLIFERATION OF WEAPONS OF MASS DESTRUCTION
A G8 DECLARATION**

1. We recognise that the proliferation of weapons of mass destruction (WMD) and their means of delivery poses a growing danger to us all. Together with the spread of international terrorism, it is the pre-eminent threat to international security.

2. This global challenge requires a multifaceted solution. We need to tackle it individually and collectively - working together and with other partners, including through relevant international institutions, in particular those of the United Nations system.

3. We have a range of tools available to tackle this threat : international treaty regimes; inspection mechanisms such as those of the International Atomic Energy Agency (IAEA) and Organization for the Prohibition of Chemical Weapons; initiatives to eliminate WMD stocks such as the G8 Global Partnership ; national and internationally-co-ordinated export controls; international co-operation and diplomatic efforts; and if necessary other measures in accordance with international law.

4. While all of these instruments are necessary, none is sufficient by itself. Not all proliferation challenges require the same remedies. We need to deploy the tools which are most effective in each case. We remain committed to work with and strengthen all these instruments and, where appropriate, to pursue the universalisation of relevant treaties and instruments.

5. Last year, at Kananaskis, we endorsed a set of Principles to prevent the spread of WMD and materials of mass destruction to terrorists and those that harbour them. Since then, events in the world have underscored the relevance of those Principles and the urgency of implementing them.

6. We reaffirm our commitment to the Non Proliferation Treaty (NPT), the Chemical Weapons Convention, and the Biological and Toxin Weapons Convention, and we urge all states which have not yet joined them to do so. We consider these three treaties to be essential instruments to maintain international peace and security and cornerstones of non-proliferation and disarmament.

We reaffirm our support for the IAEA, which should be granted the necessary means to implement its monitoring tasks.

7. North Korea's uranium enrichment and plutonium production programs and its failure to comply with its IAEA safeguards agreement undermine the non-proliferation regime and are a clear breach of North Korea's international obligations. We strongly urge North Korea to visibly, verifiably and irreversibly dismantle any nuclear weapons programs, a fundamental step to facilitate a comprehensive and peaceful solution.

8. We will not ignore the proliferation implications of Iran's advanced nuclear program. We stress the importance of Iran's full compliance with its obligation under the NPT. We urge Iran to sign and implement an IAEA Additional Protocol without delay or conditions. We offer our strongest support to comprehensive IAEA examination of this country's nuclear program.

9. We call on all States to establish effective procedures and machinery to control the transfer of materials, technology and expertise which may contribute to the development, production or use of WMD and their means of delivery. We likewise call on all States to establish and implement effective national standards for secure storage and handling of such materials with a view to effectively prevent proliferation and eliminate the risk that terrorists gain access to them. We agree, individually and collectively, to give support to this end where it is most needed.

エピアン・サミット
大量破壊兵器・物質の拡散に対するグローバル・パートナーシップ
G 8 行動計画（仮訳）

我々が昨年のカナナスキス・サミットにおいて発表した、大量破壊兵器及び物質の拡散に対するグローバル・パートナーシップは、テロリストやそれを匿う者が核、化学、放射性及び生物兵器、ミサイル、並びに関連物資、機材及び技術を取得または開発することを防止するとの目的の実現に向けて、過去一年間に重要な前進をした。

我々の確固たる約束により、重要な前進があった。

- 10年間に200億ドルを上限に資金調達するとのカナナスキスでのG8諸国の約束に向け、パートナー諸国により、既に相当額が約束された。
- ロシア政府は、「指針」の実施、特に、税、関税、課徴金及びその他の負担からの支援の完全な免除の実施を確保すると歓迎すべき決定を行った。その他の「指針」についても集中的な取組がなされてきた。
- 最近のロシア連邦における多国間核環境プログラム(MNEPR)協定の締結は、グローバル・パートナーシップ・イニシアティブを具体的行動にうつす上での実質的な前進となった。
- 全てのパートナー諸国は、実施すべき協力事業の決定に積極的に関与し、カナナスキスで我々が確認した優先順位に従い、いくつかの有意義な事業が既に開始されたか、または拡張された。
- 非G8諸国の参加と貢献を奨励し推進するためのアウトリーチ活動が行われ、その結果、フィンランド、ノルウェー、ポーランド、スウェーデン及びスイスが資金供与国としてグローバル・パートナーシップに参加することに関心を表明した。

我々は、このイニシアティブを引き続き実施し、次回のサミットまでに実質的な前進を達成するための積極的な計画を約束する。我々の目標は、

- 不拡散の「原則」の全世界による採択を追及する。
- 10年間に200億ドルを上限に資金調達するとのカナナスキスの約束を、新たな資金供与国からの拠出あるいはパートナー諸国からの追加的約束により、達成する。
- 実施枠組みを設定し、事業活動計画を策定し、既に実施中の事業を引き続き着実に前進させるという準備作業の上に、事業活動を実質的に拡大する。我々は向こう一年間、我々の優先順位に従って、優先順位を精査し、事業

の空白や重複を避け、事業の国際的な安全保障上の目的との一貫性を評価するために、事業の開始と実施の進捗を引き続き精査し事業の調整を引き続き監督する。

- パートナー諸国の均な一待遇の必要性を念頭におき、我々の共同のアプローチを踏まえつつ、全ての実施上の未解決の問題を解決し、全ての「指針」の実際の実施を精査する。
- カナナスキス文書を採択する意志のある、関心を有する非G8資金供与国に、グローバル・パートナーシップへの参加を拡大する。ロシアにおける事業に依然として焦点をあてつつ、我々は議長に、ウクライナが既に行ったように、カナナスキス文書の採択に用意のある旧ソ連諸国を含む、新たなまたは現在の被援助国との予備的協議に入る権限を与える。
- 他の機関、議会の代表及び公衆に対しグローバル・パートナーシップの重要性を周知する。

エビアンサミット

「大量破壊兵器・物質の拡散に対するグローバル・パートナーシップ：G8行動計画」

(2003年6月 於：エビアン)

**GLOBAL PARTNERSHIP AGAINST THE SPREAD OF WEAPONS AND
MATERIALS OF MASS DESTRUCTION
A G8 ACTION PLAN**

The Global Partnership Against the Spread of Weapons and Materials of Mass Destruction, which we launched last year at the Kananaskis Summit, has made significant progress over the past year toward realising the objective of preventing terrorists, or those who harbour them, from acquiring or developing nuclear, chemical, radiological, and biological weapons; missiles; and related materials, equipment, and technology.

With our determined commitment, significant progress has been made :

" Substantial sums have already been pledged by Partners towards their Kananaskis commitment to raise up to \$20 billion over ten years ;

" The Russian government has made welcomed decisions to ensure implementation of guidelines, in particular full exemption of assistance from taxation, duties and other charges. Other guidelines have also been intensively addressed ;

" The recent conclusion of the Multilateral Nuclear Environment Programme for the Russian Federation has demonstrated substantial progress in translating the Global Partnership initiative into concrete actions ;

" All Partners have actively engaged in determining co-operation projects to be undertaken, and some significant projects have already been launched or expanded, in accordance with our priorities identified in Kananaskis ;

" Outreach activities have been undertaken to invite and facilitate non-G8 countries to participate and contribute, as a result of which Finland, Norway, Poland, Sweden and Switzerland have indicated their interest in joining the Global Partnership as donors.

We commit ourselves to an active programme to continue the implementation of the initiative and to achieve substantial progress by the next Summit. Our goals are :

" To pursue the universal adoption of the non-proliferation principles ;

" To reach our Kananaskis commitment of raising up to \$20 billion over ten years through contributions from new donors or additional pledges from Partners ;

" To significantly expand project activities, building upon preparatory work to establish implementing

frameworks and to develop plans for project activities, as well as to sustain steady progress in projects already underway. We will continue to review progress in initiation and implementation of projects over the coming year, and to oversee co-ordination of projects, in order to review priorities, avoid gaps and overlaps, and assess consistency of projects with international security objectives, in accordance with our priorities ;

" To resolve all outstanding implementation challenges and to review the implementation of all guidelines in practice, keeping in mind the need for uniform treatment of Partners, reflecting our co-operative approach ;

" To expand participation in the Global Partnership to interested non-G8 donor countries that are willing to adopt the Kananaskis documents. While still focusing on projects in Russia, we mandate the Chair to enter into preliminary discussions with new or current recipient countries including those of the former Soviet Union that are prepared to adopt the Kananaskis documents, as the Ukraine has already done ;

" To inform other organisations, parliamentary representatives, and publics of the importance of the Global Partnership.

エビアン・サミット

「交通保安及び携帯式地对空ミサイル（MANPADS）の管理強化：G8行動」（仮訳）

我々G8首脳は、公衆交通に対するテロの脅威を削減するための共同の努力を強化することを決意する。我々は、安全、確実、効率的かつ信頼性のある交通を世界的に確保するため、カナナスキスで合意した行動計画を継続して実施する。我々は、計画の実施において重要な進展を達成し、また、多くの新しい措置をとった。

この分野における我々の努力の範囲は次の5分野に及ぶ。

1. MANPADS
2. 航空
3. 人員
4. コンテナ
5. 海上交通

1. MANPADSの管理

1. 1 1998年のバーミンガム・サミットにおいて、我々は、携帯式地对空防衛システム（MANPADS）の犯罪的使用により民間航空に対し向けられた脅威を認識し、この問題に取り組むためになすべき更なる作業を呼びかけた。カナナスキスでは、2001年9月11日のテロ攻撃にかんがみ、交通保安を推進することに合意した。

1. 2 本日、エビアンにおいて、我々は、特にテロリスト又はテロリストを匿う国家の手に渡ったMANPADSにより民間航空に対して向けられた脅威について深い懸念を改めて表明する。

1. 3 MANPADSは、一人の個人により運搬され発射され得るよう特別に設計された地对空ミサイルシステムである。MANPADSは、携帯可能で容易に隠蔽することが出来る一方、潜在的に甚大な破壊力をもたらしうる。したがって、我々は、MANPADSのこのような不法な使用と闘うために国内措置を実施しており、他の国家も同様の措置を実施することを奨励する。

1. 4 世界的に流通するMANPADSの数の増加にかんがみ、我々は、その拡散を削減することを約束し、全ての国にMANPADS備蓄の管理を強化するよう求める。

1. 5 2000年にワッセナー・アレンジメントの枠組みの中で、「MANPADS輸出管理のための原則」が全33参加国により合意された。これは価値ある前進であった。我々は、この文書に定められた原則がより多くの国において適用されることを、促進すべく努める。

1. 6 さらに我々は、テロリストによるMANPADSの入手を防止するため、次の手段を講ずることに合意する。

— 国家の安全保障上必要とされる以上の余剰MANPADSの回収、安全な備蓄管理、破壊のための支援と専門技術を供与すること。

— MANPADS及び必要不可欠な部品の厳格な国内的輸出管理を採用すること。

— 製造、移転、仲介について厳格な国内規制を確保すること。

— 非国家の最終需要者に対するMANPADSの移転を禁止すること。MANPADSは外国政府又は（外国）政府により公認された代理業者に対してのみ輸出されるべきである。

— 非協力的な国家・団体に関し情報交換すること。

— 特定の技術性能を有する、もしくは許可のない使用を排除する発射制御機能管理機能を有する新しいMANPADSの開発の実現可能性を検討すること。

— 国際民間航空機関（ICAO）のMANPADSに関する航空保安（AVSEC）作業グループにおける活動を奨励すること。

1. 7 我々は、2003年12月までに、これらの手段の実施に関連した国内措置に関し、情報交換することに合意する。我々は、2004年の次回会合において進展状況を見直す。

（MANPADS部分のみ掲載。以下省略。）

(2003年6月 於:エビアン)

**ENHANCE TRANSPORT SECURITY AND
CONTROL OF MAN-PORTABLE AIR DEFENCE SYSTEMS (MANPADS)
A G8 ACTION PLAN**

We, the G8 Leaders, are determined to strengthen our joint efforts to curb terrorist threats against mass transportation. We shall continue to implement the Action Plan we agreed at Kananaskis to ensure safe, secure, efficient and reliable transportation world-wide. We have made important progress in implementing the plan and also have taken a number of new measures.

The scope of our endeavours in this field covers five areas:

1. Manpads
2. Air transport
3. People
4. Container security
5. Sea transport

1. Control of Manpads

1.1. At the Birmingham Summit in 1998, we recognised the threat posed to civil aviation by the criminal use of Man-Portable Air Defence Systems (Manpads) and called for further work to be done to address this problem. At Kananaskis, we agreed to promote transport security in the light of the terrorist attacks of 11 September 2001.

1.2. Today, at Evian, we reiterate our deep concern about the threat posed to civil aviation by Manpads, especially in the hands of terrorists or States that harbour them.

1.3. Manpads are surface-to-air missile systems specially designed to be carried and fired by a single individual. Manpads are portable and easily concealed, yet capable of potentially catastrophic destruction. We are therefore implementing national measures to combat such illegal use of Manpads, and will encourage other States to do so as well.

1.4. Given the increasing number of Manpads in world-wide circulation, we commit ourselves to reducing their proliferation and call upon all countries to strengthen control of their Manpads stockpiles.

1.5. In the framework of the Wassenaar Arrangement, "Elements for the Export Controls of Manpads" were agreed by all 33 participating States in 2000. This was a valuable step forward. We undertake to promote the application of the principles defined in these "Elements" by a larger number of States.

1.6. In addition, we agree to implement the following steps to prevent the acquisition of Manpads by

terrorists:

- " To provide assistance and technical expertise for the collection, secure stockpile management and destruction of Manpads surplus to national security requirements;
- " To adopt strict national export controls on Manpads and their essential components;
- " To ensure strong national regulation of production, transfer and brokering;
- " To ban transfers of Manpads to non-state end-users; Manpads should only be exported to foreign governments or to agents authorised by a government;
- " To exchange information on unco-operative countries and entities;
- " To examine the feasibility of development for new Manpads of specific technical performance or launch control features that preclude their unauthorised use;
- " To encourage action in the International Civil Aviation Organisation (ICAO) Aviation Security (AVSEC) Working Group on Manpads.

1.7. We agree to exchange information on national measures related to the implementation of these steps by December 2003. We will review progress at our next meeting in 2004.

(MANPADS 部分のみ掲載。以下省略。)

大量破壊兵器及びその運搬手段の拡散防止に関する政治宣言

(仮訳)

2003年7月24日

1. ASEM外相は、国際の平和及び安全を維持するために、関連する国際条約に従って、軍縮並びに核・化学・生物兵器、及び関連する物質、機器及び技術の拡散防止に関する努力を継続する重要性を強調する。外相は、また、テロリストがそれらを手入または開発することを防止する重要性を強調する。この点に関し、外相は、関連の国際条約が包括的に及び非差別的に履行されることの重要性を強調する。また、外相は、これらの条約に対するより広範な参加を得ることに対する誠実なコミットメントを表明する。外相は、この分野において更なる努力を行うようコミットする。
2. 外相は、国際的な核不拡散体制の礎として、また核軍縮を追求する上で必要な基盤として、核兵器不拡散条約（NPT）及びその普遍化と完全な遵守の決定的な重要性を再確認する。この点に関連し、外相は、1995年の運用検討延長会議及び2000年の運用検討会議において、合意された義務を遵守するよう、すべての締約国に対し呼びかける。また、外相は、2005年に開催予定である第7回NPT運用検討会議の成功の重要性を強調する。
3. 外相は、包括的核実験禁止条約（CTBT）の最も早い発効及び同条約の発効までの核兵器の実験的爆発またはその他の核爆発に関するモラトリアムを達成するため、遅滞なく、かつ無条件に、かつ各国憲法手続に従った同条約の署名及び批准の重要性及び緊急性について意見交換する。
4. 外相は、2002年9月にCTBT フレンズ外相会合において発出された外相共同声明を歓迎し、同条約第14条に従い本年開催予定であるCTBT 発効促進会議の成功に向けた努力を呼びかける。

5. 外相は、IAEA 保障措置協定、及び該当する場合にはその追加議定書の普遍的な参加及び完全な遵守の重要性を強調する。この点に関連し、IAEA の保障措置制度の更なる強化に向けた一連のセミナー及び会議の成功裡の開催を歓迎する。
6. 外相は、生物兵器禁止条約（BWC）及び化学兵器禁止条約（CWC）の普遍性及び完全な実施を促進する共同の努力を継続することを決意する。外相は、CWC の第一回運用検討会議の成功を歓迎するとともに、2002年11月に締約国間で合意された今後の3年間のための作業計画を含め、BWC の規定の完全な実施のために更に協力することを決意する。
7. 外相は、大量破壊兵器の運搬能力を有する弾道ミサイルの拡散がもたらす脅威を深く懸念する。この関連で、外相は、国際的な平和及び安全に対する貢献として、2002年11月における弾道ミサイルの拡散に立ち向かうためのハーグ行動規範（HCOC）の立ち上げに留意し、バランスがとれ、かつ非差別的な方法で、ミサイルに対する包括的なアプローチをとる必要性を認識する。
8. 外相は、アジア及び欧州における大量破壊兵器及びその運搬手段の拡散がもたらす脅威に対処するため、二つの地域の間及び地域内の諸国の間において不拡散、軍縮及び核、生物及び化学技術の平和利用に関する対話と協力を促進することを決意する。
9. 外相は、大量破壊兵器、ミサイル並びにその関連する物質、機器及び技術の拡散を防止するための効果的な輸出管理の重要性を強調する。外相は、同時に、輸出管理が、物質、機器及び技術に関する平和目的の協力及び支援を妨げるべきではないことに合意する。

アジア欧州会合（ASEM）第5回外相会合
大量破壊兵器及びその運搬手段の拡散防止に関する政治宣言
（2003年7月24日 於：パリ）

Political Declaration on Prevention of Proliferation of
Weapons of Mass Destruction and Their Means of Delivery

July 24, 2003

1. ASEM Foreign Ministers emphasize the importance of continuing efforts on disarmament and prevention of proliferation of nuclear, chemical, and biological weapons; and related materials, equipment, and technologies in accordance with relevant international conventions in the interest of maintaining international peace and security. They also stress the importance of preventing terrorists from acquiring or developing them. Thus, Ministers emphasize the importance of comprehensive and non-discriminatory implementation of relevant international conventions. Ministers also declare their sincere commitment to gaining wider adherence to these conventions. Ministers commit themselves to pursuing greater efforts in this area.
2. Ministers reaffirm the crucial importance of the Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons (NPT), as well as of its universalization and of full compliance with it, as the cornerstone of the international regime for nuclear non-proliferation and as an essential foundation for the pursuit of nuclear disarmament. In this regard, Ministers urge all State-Parties to fulfill their obligations as agreed at the 1995 NPT Review and Extension Conference and the 2000 NPT Review Conference. They also stress the importance of the success of the Seventh Review Conference of the Nuclear Non-Proliferation Treaty, to be convened in 2005.
3. Ministers exchange views on the importance and urgency of signatures and ratifications, without delay and without conditions and in accordance with constitutional processes, to achieve the earliest entry into force of the Comprehensive Nuclear-Test -Ban Treaty (CTBT) as well as a moratorium on nuclear-weapon-test explosions or any other nuclear explosions pending entry into force of that Treaty.

4. Ministers welcome the Joint Ministerial Statement, released in September 2002 at the Friends of the CTBT Foreign Ministers' Meeting, and call for efforts toward the success of the Conference on Facilitating the Entry into Force of CTBT to be convened this year in accordance with Article XIV of the Treaty.
5. Ministers stress the importance of universal adherence to, and of full compliance with, IAEA safeguards agreements and, where applicable, their additional protocols; in this respect they welcome the successful convening of a series of seminars and conferences aiming at further reinforcement of IAEA safeguards system.
6. Ministers are determined to continue their joint efforts to promote universality and full implementation of the Biological Weapons Convention (BWC) and Chemical Weapons Convention (CWC). Ministers welcome the success of the First Review Conference of the CWC, and are also determined to further cooperate in fully implementing the provisions of BWC, including the work program for the next three years agreed among the State-Parties in November 2002.
7. Ministers are deeply concerned about the threat posed by proliferation of ballistic missiles capable of delivering weapons of mass destruction. In this context, Ministers take note of the launch of The Hague Code of Conduct against the proliferation of Ballistic Missiles (HCOC) in November 2002, while recognizing the need for a comprehensive approach towards missiles, in a balanced and non-discriminatory manner, as a contribution to international peace and security.
8. Ministers are resolved to promote dialogue and cooperation on non-proliferation, disarmament and the peaceful uses of nuclear, biological and chemical technologies between the two regions and among the countries within the regions so as to counter the threat posed by proliferation of weapons of mass destruction and their delivery means in the regions.
9. Ministers stress the importance of effective export controls in preventing the spread of weapons of mass destruction, missiles and their related materials,

equipments and technologies. At the same time, Ministers agree that export control should not hamper cooperation and assistance in material, equipment and technologies for peaceful purposes.

APEC 首脳宣言（バンコク宣言）仮訳（2003年10月 於：バンコク）
（軍縮・不拡散関連部分抜粋）

（略）

2. 人間の安全保障の強化

我々は、国際的なテロと大量破壊兵器の拡散が自由で開かれ、繁栄した経済という APEC の展望に対して直接的かつ重大な挑戦を突きつけているとの認識で一致した。我々は、APEC が経済の繁栄を促進することだけでなく、人々の安全を確保するという補完的使命にも貢献していくとの認識で一致した。

その結果、我々は、バンコクにおいて、以下の点につき全ての必要な行動をとることを確約した。

- ・ APEC メンバーを脅かす国際的なテログループを完全に、かつ遅滞なく解体する。
- ・ 国際的な不拡散体制を強化し、効果的な輸出管理の採用・執行、及び拡散を防止するその他の合法的かつ適切な方策を講じることにより、大量破壊兵器の拡散及びその運搬手段による深刻かつ増大する危険を除去する。
- ・ 我々の地域の安全に対するその他の直接的脅威に立ち向かう。

我々は、首脳会合の度に、これらの安全のための確約についての進捗状況につき議論し、それを追求するために具体的な行動をとることを約束した。

本年、我々は、以下につき合意した。

・ 大量輸送機関に対するテロリストの脅威を抑制するための共同の努力を強化し、テロリストによる携帯式地对空防衛システム（MANPADS）の獲得及び使用によりもたらされる国際航空に対する脅威に対し、次の措置を確約することにより立ち向かう。すなわち、各メンバーによる MANPADS の厳格な輸出規制の採用、貯蔵の安全強化、製造、移転及び仲介を規制する国内措置、国家以外の最終需要者に対する移転の禁止、及びこれらの努力を支援する情報の交換といった措置である。我々は、MANPADS に関する国内規制を強化する努力を継続し、来年チリにおいて進捗状況につき検討することに合意した。

APEC 首脳宣言（バンコク宣言）（2003年10月 於：バンコク）
（軍縮・不拡散関連部分抜粋）

Bangkok Declaration on Partnership for the Future

（略）

2. Enhancing Human Security

We agreed that transnational terrorism and the proliferation of weapons of mass destruction pose direct and profound challenges to APEC's vision of free, open and prosperous economies. We agreed to dedicate APEC not only to advancing the prosperity of our economies, but also to the complementary mission of ensuring the security of our people.

We therefore committed at Bangkok to take all essential actions to:

- Dismantle, fully and without delay, transnational terrorist groups that threaten the APEC economies.
- Eliminate the severe and growing danger posed by the proliferation of weapons of mass destruction and their means of delivery by strengthening international non-proliferation regimes, adopting and enforcing effective export controls, and taking other legitimate and appropriate measures against proliferation.
- Confront other direct threats to the security of our region.

We pledged to discuss at each Leaders' Meeting our progress toward these security commitments, and to take specific actions in pursuit of them.

We agreed this year to:

- Strengthen our joint efforts to curb terrorist threats against mass transportation and confront the threat posed by terrorists' acquisition and use of Man-Portable Air Defense Systems (MANPADS) against international aviation by committing to: adopt strict domestic export controls on MANPADS; secure stockpiles; take domestic action to regulate production, transfer, and brokering; ban transfers to non-state end-users; and exchange information in support of these efforts. We agreed to continue efforts to strengthen domestic controls on MANPADS and to review our progress next year in Chile.